

まちづくりに活躍の
みなさまを紹介します!

みやぎまちづくり情報紙



エールくん
すばらしいみやぎを創る運動
イメージキャラクター

エール

vol.69

2024.3

TAKE FREE

すばらしいみやぎを
創る協議会

4つの県民運動

- ①安全で安心なまちを創る運動
- ②心の通い合う地域を創る運動
- ③美しい生活環境を創る運動
- ④地域文化を大切に作る運動

みやぎ花のあるまちコンクール

花づくりや緑の育成を奨励することにより
「ふれあい」と「思いやり」のある人づくり・地域づくり、
そして、美しいふるさと「みやぎ」づくりを目指し
「みやぎ花のあるまちコンクール」を県と共催で実施しています。

最優秀賞



審査の結果
7団体が
入賞しました!

角田市西根4区行政区 (角田市)

おめでとうございます! ございます!

優秀賞



小野地域まちづくり協議会 (東松島市)

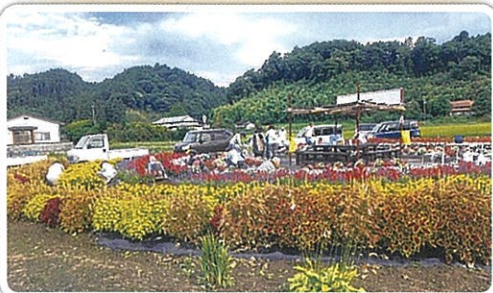
審査員特別賞



大衡村ときわ台行政区 (大衡村)



大衡村・衡中東行政区 (大衡村)



東笠島地域資源保全隊 (角田市)



小泉ユニバーサルピーチユニット (気仙沼市)



永田ふるさと保全隊 (登米市)

もくじ

表紙：みやぎ花のあるまちコンクール受賞作品

- みやぎ花のあるまちコンクール最優秀賞紹介…… 2
- すばらしいみやぎを創る協議会の紹介…… 2
- すばらしいみやぎを創る運動功績者の紹介…… 3

●県民運動の紹介…… 4、5

●犯罪のない安全・安心まちづくり県民運動…… 6

●コミュニティ助成団体の紹介…… 7

裏表紙：あなたのまちのコミュニティづくり

みやぎ花のあるまちコンクール

最優秀賞

角田市
西根4区行政区
(角田市)

角田市西根4区行政区は平成元年から長年にわたり、地域コミュニティづくりを実践してきました。今回の応募は、角田市から実績が認められ、推薦されました。

行政区内の世帯数は27戸、全人口は63人、高齢化率が60%を超えている行政区です。しかし、「一人ひとりが自分事」という考え方が浸透し、10代から90代までの幅広い年齢層の行政区民が一丸となって花いっぱい運動を継続しています。除草や花がら摘みなどの維持管理作業も徹底して行い、行政区内6箇所に植栽しています。球根類、花木類など数品種、約3万本の草花が年間を通じて咲き誇っています。

審査では、花づくりが地域に根ざしていること、世代間交流や地域の人たちとの交流があること、住民と行政が協力関係にあること、道行く人が自由に見ることができること、花壇と周辺景色との調和が取れていること、花がらや落ち葉を利用した土づくりを行うなど環境に配慮した取組等が評価され、多くの団体の中から、審査委員満場一致で最優秀賞に選ばれました。



すばらしいみやぎを創る協議会は こんなこともしています

- 広報用花の種子を配布
- 犯罪のない安全で安心なまちづくりリーフレットの配布
- 安全で安心なまちを創る運動推進のウエットティッシュを配布
- すばらしいみやぎを創る運動推進助成金
多様な活動主体が協働・連携して地域社会の絆を深めることができるよう、県民運動を推進する活動に取り組んでもらえる団体に対して5万円を上限として活動費の助成を行いました。

安心で安全なまちづくりの
啓発用ウエットティッシュ



広報用花の種子
(数種類あります)



犯罪のない安全で安心な
まちづくりリーフレット



各団体と連携して、まちづくりについての支援や助成を行っています。

令和5年度

すばらしいみやぎを創る運動功績表彰

受賞者紹介

安全で安心なまちを創る運動
心の通い合う地域を創る運動

佐藤 幸子 氏 (仙台市)

仙台市泉ひまわり生活学校発足以来のメンバーであり、現在は副委員長として中心的役割を果たしている。東日本大震災復興支援活動や仙台市環境フェア等においての卓越した指導力はすばらしく、その功績は大きい。地域の交通安全活動に携わり、地域活動にも貢献している。



仙台市中心部から北へ約10キロに位置する泉区向陽台地区。佐藤幸子さんはこの閑静な住宅地で子育てをしながら、交通指導隊や交通安全母の会、仙台市泉ひまわり生活学校副委員長など地域活動に貢献してきました。

昔から、身体を動かすことが好きな佐藤さんは「地域のために動くことは苦にならない。」と言います。向陽台バレーボール協会の繋がりを通じて、輪を広げ、様々な地域活動に参加しました。

その他、地域を飛び出し、仙台市泉ひまわり生活学校一員として、仙台市の環境事業や東日本大震災復興支援活動、子育て支援にも携わりました。

長年の活動を通じて感じることは地域の高齢化が進み、買い物難民や、独居世帯が多くなっていることが懸案のようです。自分は様々な活動をしてきたおかげで仲間がいるが、そうではない人が多くなっていると感じるそうです。住宅地には若い世代も増えていますが、地域活動に時間を割けるご家庭は少ないようです。

良いかたちで次世代へ引き継ぎ、心の通い合う地域を目指してほしいと願います。



令和5年度すばらしいみやぎを創る運動 功績者・団体 (五十音順)

安全で安心なまちを創る運動 心の通い合う地域を創る運動

小野寺 久 氏(登米市)

人口減少対策部会の委員として浅水の空き家の実態を把握し適正管理に尽力された。また、少人数世帯への住民へ意識調査を行い、空き家にならないよう啓発活動を実施してきた。また、「浅水コミュニティ運営協議会」副会長を務め、浅水三大事業の実行委員としても地域の住民が親睦を図る事業運営に尽力された。

安全で安心なまちを創る運動 心の通い合う地域を創る運動 美しい生活環境を守る運動

齋藤 俊美 氏(女川町)

すばらしいおなごを創る協議会の会長として震災後から10年間、会長として率先して行動し、協議会の基盤づくりに多大な貢献をした。

特に、花いっぱい運動や、高齢者の見守りを町ぐるみで行えるよう尽力した。また、児童生徒の見守り活動では欠かさず街頭に立ち、声かけを行った。

安全で安心なまちを創る運動 心の通い合う地域を創る運動 美しい生活環境を守る運動

清水 一男 氏(女川町)

東日本大震災後の仮設住宅において草刈りや集会所への植栽活動を積極的に行い、環境整備や花いっぱい運動に尽力した。また、保育所や小学校の畑作業ボランティアを実践したり登下校の見守りを行うなど、子どもの健全育成や教育実践に貢献した。また各イベントにもボランティアとして積極的に参加している。

安全で安心なまちを創る運動 心の通い合う地域を創る運動

藤村 美代子 氏(気仙沼市)

鹿折地区ボランティアクラブでは、各役員を務め現在は会長として地域行事への参加協力をはじめ、鹿折デイサービスセンターやその他福祉施設も訪問し、踊りのサービス等で交流を深めている。また、地域の子どもは自分たちで守ろうということで「鹿折子ども見守り隊」では中心メンバーとして活躍している。

安全で安心なまちを創る運動

三浦 信市 氏(涌谷町)

地域の自主防災組織で活動しており、平成31年度から自主防災組織連絡協議会会長として活動している。その活動の中で自主防災組織育成に貢献。

また、町内の自主防災組織連絡協議会が発行する会報で地域の防災活動等について多くの人に知ってもらおう周知活動を行った。

地域文化を大切に作る運動

多賀城市食生活 改善推進員協議会(多賀城市)

多賀城市出身の女子大生と共に市の特産品「古代米」を通じた地域振興をテーマにしたレシピを開発した。

その後も地区伝達講習会や地域サロンで調理、試食を継続しており、市民が地域文化を大切にすることや市民の健康づくりの一助となっている。

第57回すばらしいみやぎを創る運動

県民のつどい

安全・安心まちづくりフォーラム

すばらしいみやぎを創る運動の推進・

安全・安心なまちづくりを目指して

第五十七回すばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」安全・安心まちづくりフォーラムが十一月九日、ホテル白萩（仙台市）にて開催されました。県内各地から、地域やまちづくりのリーダー、防犯団体関係者など約120人が集まりました。

冒頭に行われた表彰式では長年、功績のあった個人6名・1団体に表彰状と記念品が贈られました。また、宮城県と共催で行ったみやぎ花のあるまちコンクールの表彰式も行われ、会場からあたたかい拍手が送られました。

引き続き、昨年度の運動功績受賞者である仙台荒町子まもりプロジェクト実行委員長庄子康一氏による「学



藤崎三郎助会長のあいさつ



仙台荒町子まもりプロジェクトの活動紹介



にか奴亭三助氏による記念講演

区内23の機関・団体・企業が連携！強みを活かした子まもり月間活動」と題した活動紹介が行われました。

その後、記念講演として、静岡県の警察官として活躍し、定年後に落語家に転身したにか奴亭三助氏より「安全安心な社会の構築『弁当に救われし俺の道』」コミュニケーション無き地域は危険がいっぱい」と題してお話をいただきました。軽妙な語り口と説得力がある落語を通じて楽しみながら防犯意識の向上や安全安心なまちづくりについて学びました。



表彰式の様子

住民主体の地域づくりを住民主体でデザインする

～今、求められる地域の総合力とは～

すばらしいみやぎを創る推進委員、まちづくりや地域づくりを行っている方や自治体のまちづくり担当職員を対象に、すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会を開催しました。

参加者は、住民主体の地域づくりや地域課題を「我が事」と受け止めて活動する大切さを学びました。

すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会

開催日 令和5年10月10日（火）石巻合同庁舎
令和5年10月11日（水）大河原合同庁舎

講師 特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク
事務局長 高橋 由和氏

公民館や学童施設の運営や、幼少期からの人材育成に取り組み、若年層の育成を実践しています。また、生活支援アプリやAIスピーカーを活用した高齢者の生活支援を行っています。

全国表彰
あしたのまち
くらしづくり活動賞
総務大臣賞受賞団体！



NPO法人きらりよしじまネットワークによる研修会



熱心に研修に参加する様子
(石巻会場)



意欲的に意見交換する様子
(大河原会場)

令和五年度 すばらしいみやぎを創る
運動推進委員研修会

すばらしいみやぎを創る協議会では、 率先して活動に取り組む関係団体へ活動費の助成を行いました

すばらしいおながわを創る協議会（女川町大原北区）

安全で安心なまちを創る運動

女川町大原北区は、全員が災害公営住宅の入居者です。一番の課題はコミュニケーションづくりでした。そのために、子供会・老人クラブ・婦人会・カラオケ愛好会を立ち上げて活動するとともに、ラジオ体操・庭造り・夏祭りや秋祭りを開催してきました。また、カフェを設置して住民の憩いの場をつくりました。もう一つの課題は、高齢者が多く、見守りが必要だということです。そこで、「見回り隊」を発足させ、月2回見回り（約80世帯）をしています。地区のことは地区で守ることをモットーに活動しています。



宮城県中学校長会（蔵王町立宮中学校）

心の通い合う地域を創る運動

宮中学校は「あいさつが自慢の学校」です。コミュニティ・スクールとして地域を巻き込んだ「宮地区あいさつ活性化標語コンクール」を実施しました。生徒だけでなく、地域の方からも応募を募り、最優秀賞1点、優秀賞2点を選びました。選ばれた作品をのぼり旗にして、各地に設置します。この事業により、地域、小学校、中学校、各家庭でこれまで以上にあいさつを交わす心の通い合う地域になることを目指します。



宮城県私立中学高等学校連合会（聖ウルスラ学院英智高等学校）

心の通い合う地域を創る運動 美しい生活環境を創る運動

JRC（Junior Red Cross 青少年赤十字の略）部では、春と秋になると、学校前バス停の花壇をマリーゴールドやデイジーなどの季節の花々に植え替えています。部全体で取り組む活動でもあり、近隣住民の方々から応援の言葉を頂くこともあり、私たちの励みになっています。



宮城県中学校長会（石巻市立青葉中学校）

美しい生活環境を創る運動

青葉中学校では、文化祭の時期に合わせて生活委員会が校舎前の花壇や校門前のプランターに花を植えました。生活委員会の生徒が朝に当番制で水やりを行うことで、地域の方々や登校してくる生徒との会話のきっかけづくりになっています。



宮城県小学校長会（白石市立小原小学校）

心の通い合う地域を創る運動 美しい生活環境を創る運動

小原小学校では、地域の公園「スパッシュランドパーク」で、芝桜などの植栽に取り組みました。小原に立ち寄られた方々の目を楽しませ、心に潤いを与えようと、地域や市役所の皆さんと一緒に活動しました。



白石市民として、地域に貢献し、地域を愛する心「シビックプライド」を醸成する一助となりました。

日本赤十字社宮城県支部（仙台市原町赤十字奉仕団）

美しい生活環境を創る運動 地域文化を大切にする運動

原町赤十字奉仕団では原町本通り地元愛醸成活動として、歴史と伝統のある原町本通り（仙台市宮城野区）を清掃活動しながら歩き、健康増進のために設置した歩数標柱や防犯カメラ設置場所を確認しました。参加者は、美化活動と共に地元の歴史や設置場所など再確認し、地元愛の醸成に繋がりました。



すばらしいみやぎを創る運動を実践している団体「宮城県生活学校連絡協議会」事業紹介

生活学校・生活会議東北・北海道ブロック研究集会を開催

生活学校は、身近な暮らしの問題を学び調べ、実践の中で生活や社会を変えていく活動を行っています。

宮城県生活学校連絡協議会では高齢者の居場所づくりや子育て支援、食品ロス削減の啓発、復興支援活動、食を通じた子どもの居場所づくり等の活動を行っています。

生活学校運動の歩み

昭和39年のスタート以来、時代が変わっても様々な問題に取り組み、成果を上げてきました。

- 有害食品添加物の規制や禁止
- 休日・夜間診療の実現
- 禁煙車両の導入
- 市町村ゴミ分別収集品の拡大
- 過剰包装の追放など

一緒に活動するメンバーを募集しています！

令和5年度生活学校・生活会議運動東・北海道ブロック研究集会が令和5年11月14日、ホテルニュー水戸屋（仙台市）にて開かれました。

開会后、平成13年から2年間、県環境生活部次長を務め、現在、独立行政法人国立女性教育会館理事長の萩原なつ子氏をお招きして「未来の地域づくりを女性のパワーで」と題した基調講演が行われました。

その後、全国テーマ「食を通じた子どもの居場所づくり」に添った取組を各県の代表者が発表しました。

引き続き、県内の生活学校がフリートーク形式で発表を行い、活動事例の共有や今後の活動のあり方について理解を深めました。



犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり県民運動

宮城県では、「犯罪のない安全・安心な地域社会の実現」を目指した県民運動を推進しています。

安全に安心して暮らすためには、自治体や警察の活動に加え、県民の皆さんが、「自らの安全は自らが守る」、「地域の安全は地域で守る」という意識をもってまちづくりに取り組むことが重要です。県民の皆さん一人ひとりが手を取り合い、協力して、安全・安心まちづくり県民運動を進めていきましょう。

地域で「ながら見守り」はじめましょう

みんなで「ながら見守り」で子どもたちを見守りましょう

「ながら見守り」とは、防犯の視点を持って子どもたちを見守る活動です。

いつもの行動を、登下校時間に合わせるだけで子どもの安全につながられます。

企業も「ながら見守り」で地域貢献～防犯 CSR 活動～

CSRとは、「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」と訳され、環境保護・地域貢献等、純粋に財務的な活動以外において、企業が持続的な発展を目的として行う自主的な取組です。

防犯の分野での活動を「防犯 CSR 活動」といいます。

防犯CSR活動のメリット



子どもたちは安心!

「ながら見守り」で大人の目が増えれば…

犯罪を起こそうとする者には犯罪を思いとどませる

あなたの日常生活に「ながら見守り」を

日課の犬の散歩やウォーキング、ジョギングなどしながら…

徒歩や自転車、車を利用して買い物しながら…

通勤の途中やバスを待ったり、待ち合わせしながら…

農作業や花の水やりや庭のお手入れや玄関先のお掃除をしながら…

不審者を発見したら、すぐに警察へ通報を!

広がる「防犯 CSR 活動」

令和5年6月に、宮城県・宮城県警ではアサヒ飲料（株）と地域安全協定を締結しました。主な事業は、見守り活動、防犯カメラ付き自動販売機の設置促進等の地域安全活動を推進します。

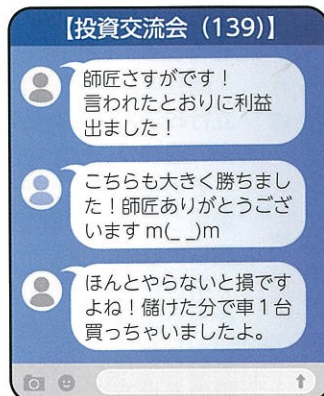


特殊詐欺被害～今日からできる対策を

SNS対策 金融商品詐欺の被害が急増しています!

固定電話だけでなく、スマートフォン等で特殊詐欺被害に遭うケースもあります。

特に、SNSのグループトークで、「投資」「FX」「不動産情報交換」等を騙った「もうけ話」から誘導され、口座に送金してしまう被害が多発しています。



SNSで相手とのメッセージを交換 (LINE グループの招待等)

投資に関するメッセージが届く (もうけ話)

「利益が出る方法・タイミング」を教わる

指示された口座に送金

SNS等では、知人以外からのメッセージは拒否する等の対策をとりましょう。

コミュニティセンター助成事業

美里町 横塚行政区会

本自治会は、美里町の北西部に位置し、約170世帯の住民により構成されています。コロナ禍では活動を縮小していましたが、現在は活動が徐々に復活し、主にグランドゴルフ大会やお茶っこ飲み会、子供神輿祭り、百歳体操などを通じて会員同士の交流を図っています。

本自治会の活動拠点であった旧横塚公会堂は、建立してから50年以上が経過し老朽化が激しく、それでも、会員は各行事の活動拠点として長年愛用してきました。一方で、東日本大震災の際には避難所として活用することができませんでした。

集会所の建替えにあたり、平成28年から役員会などの機会があるごとに検討を重ね、建替えをする方向で計画を立案し、建設資金を積み立てました。そして令和3年8月の臨時役員会において、集会所の建替えを書面決議により賛成多数の決議を行いました。しかし、会員から



の資金徴収だけでは建設資金を賄えないため、令和4年度コミュニティセンター助成事業を活用し事業を実施しました。

そして今回の助成により、令和5年2月に旧横塚公会堂は「横塚コミュニティセンター」に生まれ変わりました。念願の集会所建替えに、会員の皆さんは大いに喜びました。集会所の建替えをきっかけに、百歳体操を行ったり、昔の本自治会の活動様子を収めたビデオを鑑賞し懐かしんだり、新たな取り組みを始めました。施設の利便性が高まったことにより、自治会の活動が一層活気あふれるものとなりました。

これからも会員の皆さんが横塚コミュニティセンターを積極的に活用し、地域への愛着や会員同士の親睦を深めることを期待しています。



の資金徴収だけでは建設資金を賄えないため、令和4年度コミュニティセンター助成事業を活用し事業を実施しました。

そして今回の助成により、令和5年2月に旧横塚公会堂は「横塚コミュニティセンター」に生まれ変わりました。念願の集会所建替えに、会員の皆さんは大いに喜びました。集会所の建替えをきっかけに、百歳体操を行ったり、昔の本自治会の活動様子を収めたビデオを鑑賞し懐かしんだり、新たな取り組みを始めました。施設の利便性が高まったことにより、自治会の活動が一層活気あふれるものとなりました。

これからも会員の皆さんが横塚コミュニティセンターを積極的に活用し、地域への愛着や会員同士の親睦を深めることを期待しています。

一般コミュニティ助成事業

塩竈市 藤倉親交会

塩竈市は、宮城県のほぼ中央、仙台市と日本三景で知られる松島との中間に位置しております。「陸奥国一之宮鹽竈神社」の門前町として、また、みなとまちとして栄えてきました。中でも生マグロは全国でも有数の漁獲高を誇っており、水産加工業が盛んで、笹かまぼこ、揚げかまぼこなどの水産練り製品など、日本有数の生産量を誇るものが数多くあります。

今回、コミュニティ助成事業に採択いただいた当町内会は塩竈市北部に位置しており、昭和31年の結成時は135世帯でしたが、仙石線東塩釜駅が近いこともあり60有余年経過した現在では、580世帯が加入されております。

平成20年、認可地縁団体として新しく建設所有した藤倉コミュニティセンターは、快適なエアコンや床暖房を完備しており、さまざまな会議は勿論のこと「秋まつり」などのイベントや「ダンベル教室」「カラオケ教室」「プログラミング教室」「三味線・踊り」「防災学習・防災訓練」などに加え、



婦人部による広報配布活動等を活発に行ってお



り、年間合計で約270回程度利活用されております。

また、災害が発生した際には、防災対策本部(津波発生時は除く)となり、町内放送を通じた情報の発信や一時避難所としての機能も有しております。

このように活動の拠点として親しまれているコミュニティセンターですが、活動内容に合わせた机や机の配置換えに大変苦慮しておりました。今まで利用していた折畳みテーブルはとて重さがあり、コミュニティセンターを使用する子どもや高齢者にとって移動や片付けがかなりの負担になっておりました。

この度、一般コミュニティ助成事業で整備した軽量折畳みテーブルは、「あっ！軽い！」「一人でも運搬できる」「これなら設置や片付けが簡単」と利用者の皆様から大好評を頂いております。

近年の町内会は、年々少子高齢化が避けられない現状ですが、今回の助成により一層快適で充実したコミュニティ活動を展開できるものと期待しております。

あなたのまちの コミュニティづくり



皆さんの地域の町内会や自治会などでは、環境美化などのコミュニティ活動が盛んに実施されていることでしょう。そのような活動の中で、こんな施設や備品があったら、もっと活動が活発になるのにも思ったことはありませんか。

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの受託事業費を財源とし、市町村を通じて、地域の町内会、自治会の活動への助成を行っています。

コミュニティセンター 助成事業

地域住民の共同活動の拠点となる多目的な総合施設の整備事業への助成です。自治会集会所などのコミュニティセンターの新築や大規模な修繕、その施設に必要な備品等が対象となります。



美里町(横埜行政区会)

一般コミュニティ助成事業

地域的な共同活動に必要な備品や設備の整備事業への助成です。環境美化・文化学習・体育・レクリエーションなど様々な活動で使用する備品が対象となります。



大河原町(新田町区)

青少年健全育成助成事業

青少年の健全育成を目的に地域で実施する親子参加型のソフト事業への助成です。各種野外活動の実施、スポーツやレクリエーション大会の開催などが対象となります。



宮城県環境生活部共同参画社会推進課
電話 022-211-2567

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/comijyo.html>

または、各市町村コミュニティ担当課までお気軽にお問い合わせください。(仙台市を除く。)

本事業に関する
お問い合わせは



令和6年3月発行 第69号

発行/すばらしいみやぎを創る協議会

仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県環境生活部共同参画社会推進課内

TEL022(211)2576 FAX022(211)2392